

6. 地方からの便り

消防防火パレード

北海道 旭川市消防本部



旭川市少年婦人防火委員会では、(財)日本防火協会との共催で防火クラブ員による防火パレードを開催しました。参加者は、市内の幼年消防クラブ員、婦人防火クラブ員、シルバー防火クラブ員の約3,100名にのぼりました。このパレードは、各防火クラブが合同でパレード実施することによって、クラブ員の防火意識の高揚及び市民に防火思想の普及を図ることを目的に年一回開催しているもので、今年で20回目となりました。パレードには、横断幕を先頭に各幼年消防クラブ員がポンポンを持って踊ったり、あるいは神輿を持ったり、楽器を演奏したりと、みんな元気良く「火の用心」を訴えていました。シルバー防火クラブ員、婦人防火クラブ員もかわいい幼年の「火の用心」の掛け声に合わせて拍子木をうちながら、買物公園を行進しました。沿道からは、たくさんの人達が声援を送っていました。

[▲ このページの上に戻る](#)

20歳の誕生日

長崎県 佐世保市消防局

佐世保市少年消防クラブ連絡協議会(佐世保市消防局)では、同クラブ協議会結成20周年を記念して、7月23日(火)、佐世保市消防局において「平成14年度 少年消防クラブ結成20周年記念式典」を開催しました。佐世保市少年消防クラブは、昭和56年にわずか2クラブで発足し、少年期のころから社会教育の場で「火」について正しい認識を持たせ、将来、火災予防を生活の中の習慣として実践できる社会人になってもらおうということを目的に結成されました。その後年々増加を続け、現在では19クラブ、約1,400名を超えるまでに成長しています。当日は、天気にも恵まれ、会場は多数の参加者で埋め尽くされました。第1部では、炎天下のもと恒例の消防一日体験学習会を開催し、レスキュー隊による救助訓練を見学した後、体験学習をしました。レスキュー・ロープ結索訓練、放水訓練及び応急手当訓練コーナーが設けられ、クラブ員達は、それぞれ、体験学習しました。閉会式では、少年消防クラブ連絡協議会々長が、参加全クラブ員に学習会の修了証を交付して、クラブ員としての自覚を持つことを期待する言葉が述べられ、結成20周年記念の式典を無事終了しました。



[▲ このページの上に戻る](#)

高岡市BFC活動「ファイヤーパーク」盛大に開催

富山県 高岡市消防本部



9月24日（火）秋晴れのもと高岡市下関小学校全児童700名の参加による防災訓練「ファイヤーパーク」が、学校授業（13：30～16：00）の一環として実施されました。同小学校の児童は全員が少年消防クラブ員となっております。クラブ員達は、消火訓練、煙体験、放水訓練、消火器取扱訓練などを体験し、有意義な学習となりました。古都高岡の防火意識の向上にもつながったことと思います。

[▲ このページの上に戻る](#)

心肺甦生競技会の開催

愛知県 尾三消防本部

9月14日（土）午後1時30分から日進市民会館大ホールにおいて心肺甦生競技会が実施されました。競技は、災害時における地域住民の応急手当に対する意識の高揚を図るとともに、心肺蘇生法の正確性を競い、救命率を向上させることを目的に、心肺蘇生法《一人法（中学生の部・一般の部）・二人法（一般の部）》が行われました。参加者は、87名で、4分間という救命するための最も重要な時間帯の中で、熱心に心肺蘇生法に取り組んでいました。



[▲ このページの上に戻る](#)

救命講習会がお茶の間に！

奈良県 西和消防本部



9月9日の「救急の日」に、管内の構成7町の消防団員15名に対し、「上級救命講習会」が実施されました。

毎年「救急の日」に実施しているこの講習会は今年で11回目、述べ154名の団員が受講したこととなります。さまざまな災害現場で、消防士とともに活動する消防団員は、住民の安全を守る心強い支えです。現場等で遭遇した負傷者の命を救うには迅速・的確な救命法を覚えることは大

事なことであり、習得した救命法は家庭においても役立ちます。当日は、地元テレビ局が、講習内容をニュースとしてとして取上げ、真剣に救命蘇生法に取り組む団員の姿がお茶の間に流れ、住民の団員に対する信頼が増したものと思います。

[▲ このページの上に戻る](#)

救急フェア2002イン八女

福岡県 八女市消防本部

9月9日「救急の日」に、八女市のショッピングセンターにおいて、救急フェアが実施されました。「救命リレー、第1走者はあなたです！」の sloganのもと、八女地区で大規模災害が発生したとの想定で、市民を含め22団体約2,000名が参加しました。避難誘導、応急処置、火災防御等の訓練後、ドクターヘリ傷病者搬送訓練では、屋上にとり残された重度傷病者を救助隊が梯子車で救出、その後、救急隊、ドクターヘリへと命のバトンを繋ぎ、実践さながらの訓練となりました。今回の訓練により、地域住民また各関係機関が「救命の連鎖」（早い通報・早い応急手当・早い応急処置・早い医療処置）の大切さを理解し、より一層認識を深めることとなりました。



[▲ このページの上に戻る](#)

火遊び 絶対にしないよ（防火パレード）

広島県 三原市消防本部



世羅郡世羅西町山中福田、小国保育所つばき分園の園児14人が地区住民に「火の用心」を呼びかける防火パレードを実施しました。園児の保護者や消防団員ら約30人も参加。法被姿の園児は、拍子木を手に「火遊びはしません」と火の用心を約束し、2キロを40分かけて歩き、沿道で声援を送る地区の人に手づくりうちわをプレゼントしました。

[▲ このページの上に戻る](#)

救急医療週間行事 恒例の救急フェア

大阪府 豊中市消防本部

「救急の日」及び「救急医療週間」行事の一環として、平成14年8月31日に豊中市立原田小学校において「救急フェア2002」を開催しました。高齢化並びに社会環境の変化に伴い、救急需要は当市においても年々増加傾向にあり、多くの市民の方に正しい応急手当の方法を学ぶとともに、救急活動に対する市民の一層の理解と認識を深めていただくことを目的としてあります。会場では、心肺蘇生法体験、血圧測定、大阪府豊中保健所による健康診断、救急資器材展示などの多数のコーナーを開設しました。大変厳しい残暑の中、応急手当の重要性等を市民に広くアピールし、会場は大変賑わいました。



[▲ このページの上に戻る](#)

防火の輪を広げよう

熊本県 天草地域連合消防本部

平成14年5月25日に倉岳町の苓陽幼稚園幼年消防クラブ、5月30日に倉岳保育所幼年消防クラブの入部式が行われ、誓いの言葉では、「絶対に火遊びはしません」と大きな声で元気よく防火を誓いま

した。新和町管内の新和小学校及び大多尾小学校では6月7日、8日にそれぞれ入部式が行われました。式では、町の関係者も多数出席して行われ、町長から励ましの言葉及び少年消防クラブ手帳の交付を受けました。その後、新しいクラブ員を代表して会長が「私たちはきまりを守り、火災予防に関する事から学び、明るく健やかな体を養い、クラブ員として一生懸命頑張ります。」と力強い誓いの言葉を宣誓しました。

[▲ このページの上に戻る](#)

火災予防週間 防火標語の決定

三重県 鈴鹿市消防本部

鈴鹿市消防本部は、秋の全国火災予防週間（11月9日～15日）を前に市内に在住または、通勤、通学されている方を対象に7月22日から8月31日まで防火標語を募集した結果、応募総数7,145点があり、その中から、市内在住の橋本日出子さん（61才）の作品「燃やすまいこの街この家この風景」を鈴鹿防火標語（市長賞）と決定しました。この標語は、平成14年10月から2年間、パンフレット、懸垂幕、配布用ティッシュ等、火災予防週間中の防火広報に使用し、市民に火災防火を呼びかけます。また市長賞のほか、特選（市議会議長賞、防火協会長賞、消防長賞、消防団長賞、消防署長賞）、入選5点、努力賞10点が選ばれ、市長賞、特選の作品は、11月10日(日)、市内のショッピングセンターで行われる「消防フェスティバル」で市長賞等の表彰が行われる予定です。

[▲ このページの上に戻る](#)

「道の駅」で救急テント村開催

島根県 雲南消防本部



雲南消防本部では、9月9日「救急の日」に伴い、消防本部のある木次町の「道の駅」において、救急業務についての理解と応急手当の普及を図るため、救急テント村を開催しました。テント村では、救急隊員が「救急の日のパンフレット」を約300枚配布し、応急手当講習コーナー、血圧・体脂肪測定コーナー、高規格救急車と救急資機材の展示コーナーを設け、血圧・体脂肪測定コーナーでは約60人が測定を受けました。

消防音楽隊 第3回演奏会を開催～心に響け！防火の思い～

大阪府 泉佐野市消防本部

泉佐野市消防本部（賀本俊勝消防長）では、7月13日（土）午後6時30分から泉の森ホール大ホールで消防音楽隊の第3回演奏会を開催しました。当音楽隊は市民との交流を深め、火災予防の輪を広げるため、泉佐野市火災予防協会から楽器の寄贈を受け、平成11年4月に隊員35名で発足したものです。昨年の第2回演奏会から約1年。防火パレードや出初め式を経験し、レパトリーも増え、この1年間の活動の成果を披露するため、非番・休日を返上して猛練習を繰り返してきました。演奏会は3部構成で、マーチに始まり歌謡曲や民謡まで、幅広い年齢層の市民の皆様楽しんでいただけるよう多彩な選曲で、特に第3部では「ステージ・マーチング」や「みんなで歌おう」コーナーで音楽隊の生演奏に客席が大合唱を行うなど会場は大いに盛り上がりました。本年の演奏会は、昨年好評を博した演奏会とあって、市民の関心は高く、会場は超満員で熱気あふれるなか、日頃合同練習をしている泉南市立一丘中学校吹奏楽部員の特別出演等もあり、華やかな演出や消防隊員たちの熱演に観客たちは「感動した」「元気を与えられた」と新たな気持ちで「火災ゼロ」を誓っていました。



目次

- [1 「防火ネットニュース」開設にあたって（ごあいさつ）](#)
- [2 総務省消防庁関係の平成15年度重点施策の概要（一部抜粋）](#)
- [3 「救急の日」及び「救急医療週間」の実施](#)
- [4 消防殉職者慰霊祭の実施](#)
- [5 秋季全国火災予防運動に向けて・・・防火ポスターを制作](#)
6. 地方からの便り
- [7 道府県婦人防火クラブ連絡協議会会長だより](#)
- [8 .あなたも危険物取扱者・消防設備士に](#)